

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	障害福祉課長 鷲尾 礼弁	
健福-39	障害者施設管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	障害福祉課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	発達支援室
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	知的障害者、障害児等
意図	知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため。 障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。
効果	知的障害者の社会性の向上を図る。 障害児通所支援事業等を行う施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

2 令和4年(2022年)度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉はまなみの今後の土地賃借料算定のため、公的不動産活用課に技術協力を依頼し、境界確定に向けた測量作業を行った。 ・鎌倉はまなみの民営化に伴う道路後退部分の整備については、隣接する境界未確定土地に係る関係者(相続関係人)の特定に時間を要したため、実施には至らなかった。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	御成在宅福祉サービスセンター設備維持修繕料	設備維持修繕料	-	- / -	-	-	/
02	鎌倉はまなみ施設整備事業	施設整備(道路後退部分)委託料	-	10 / 100	100	100	/
03				- / -	-	-	/
04				248 / 293	293	1,400	/
05				/			/
06				/			/
07				/			/
08				/			/
09				/			/
10				/			/
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	258 / 393	393	1,500	
		事業費の合計(千円)		258 / 393	393	1,500	
		人件費(千円)			2,279	1,792	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.7	0.3	0.3	0.2		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	御成在宅福祉サービスセンター設備維持修繕料	市の所有する施設を維持修繕する事業で指標の設定には適さない。	市の所有する施設を維持していくため必要な事業である。	剥離等が認められた外壁のタイル修繕については、保育課所管(公的不動産活用課:技術協力)の外壁タイル修繕事業において、修繕作業を行った。
02	鎌倉はまなみ施設整備事業	民間施設としての運営に移行した施設が所在する土地を管理するもので指標の設定には適さない。	民間施設としての運営に移行したが、地域の障害福祉に継続して貢献している。	これまで所有者が不明であった一部隣接地については、関係者の一人に連絡を取ることができ、測量作業を実施した。令和6年度以降の有償貸付けに向けた事務を進めていく。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		△-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
鎌倉はまなみについては、建物の民間への移譲後の施設運営に注視する。土地利用に関しては、令和6年度以降の賃借料徴収に向けた事務を進めていく。 また、御成在宅福祉サービスセンターの建物について、引き続き、維持管理を行う。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名							
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--